

BIM-ECコンソーシアムとUniclass

スタートCAM株式会社

- ① BIM-ECコンソーシアムの目的
- ② BIM-ECコンソーシアムの歩み
- ③ BIM-ECシステムの構築に向けた取組
- ④ BIM-EC今後の展開

① BIM-ECコンソーシアムの目的

BIM データを活用した e-Commerce（電子商取引など）を実現



<https://bim-ec.com/>（BIM-ECコンソーシアムHPより引用）

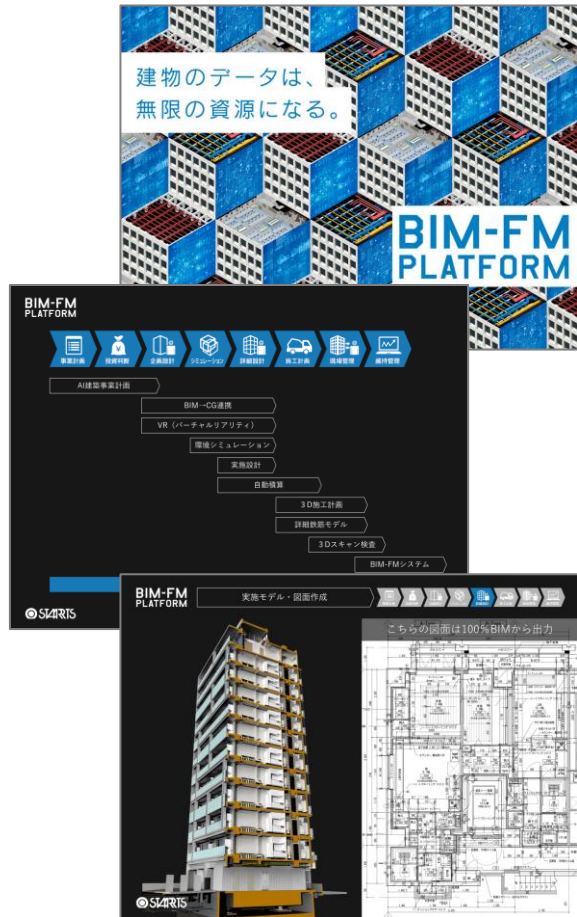


② BIM-ECコンソーシアムの歩み

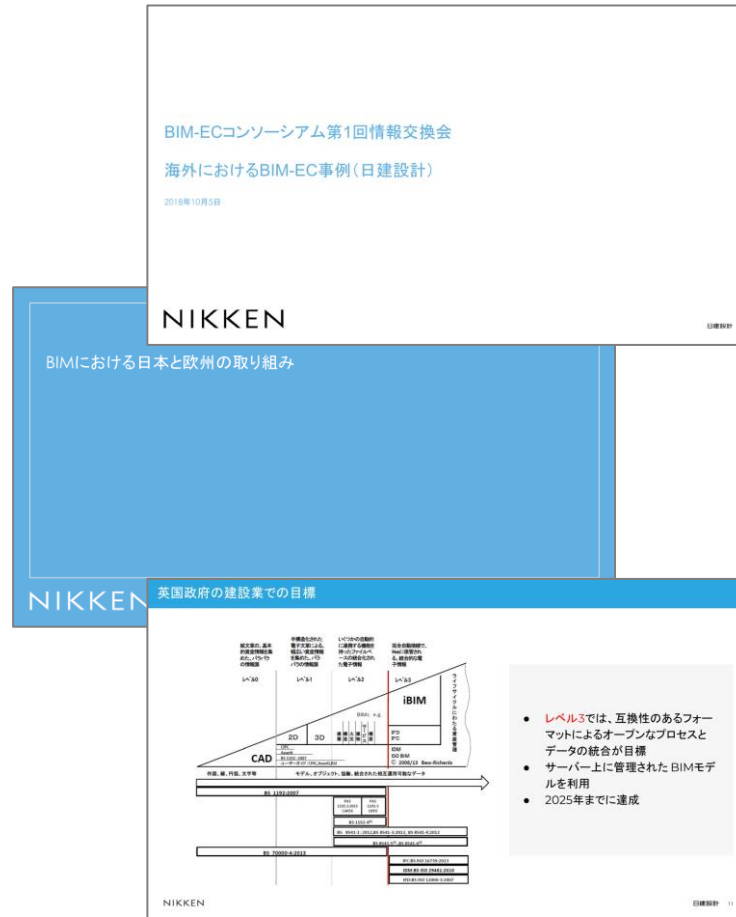
- ECコンソ 1 期（2018年9月～） 会員13社にて始動、BIM関連勉強会などを開催
- ECコンソ 2 期（2019年4月～） メーカー・専門工事業者とのBIMデータ連携を検証
- ECコンソ 3 期（2020年4月～） 会員各社との実証実験の活動報告を実施
- ECコンソ 4 期（2021年4月～） R3国交省BIMモデル事業にてデータ連携の効果検証を報告
- ECコンソ 5 期（2022年4月～） 会員31社へ拡大、EC勉強会を中心にコード分析とPoCに向け始動
- ECコンソ 6 期（2023年4月～） 会員38社へ、PoC開始し現在検証中

② BIM-ECコンソーシアムの歩み

- ECコンソ 1期 (2018年9月～) 会員13社にて始動、BIM関連勉強会などを開催



スタート



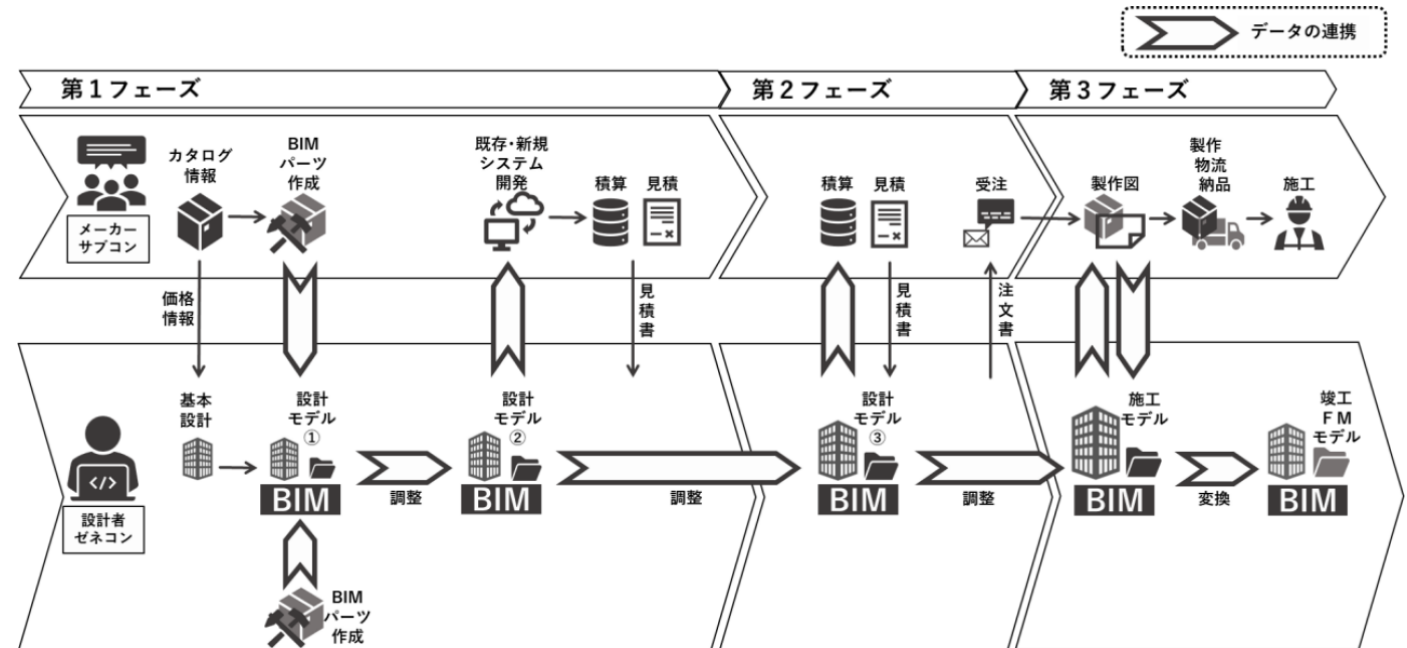
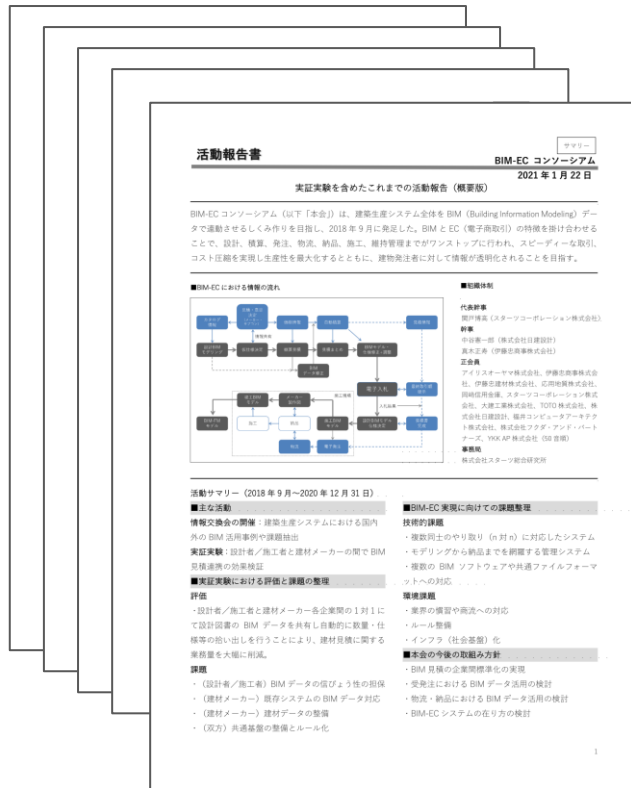
日建設計



福井コンピュータ

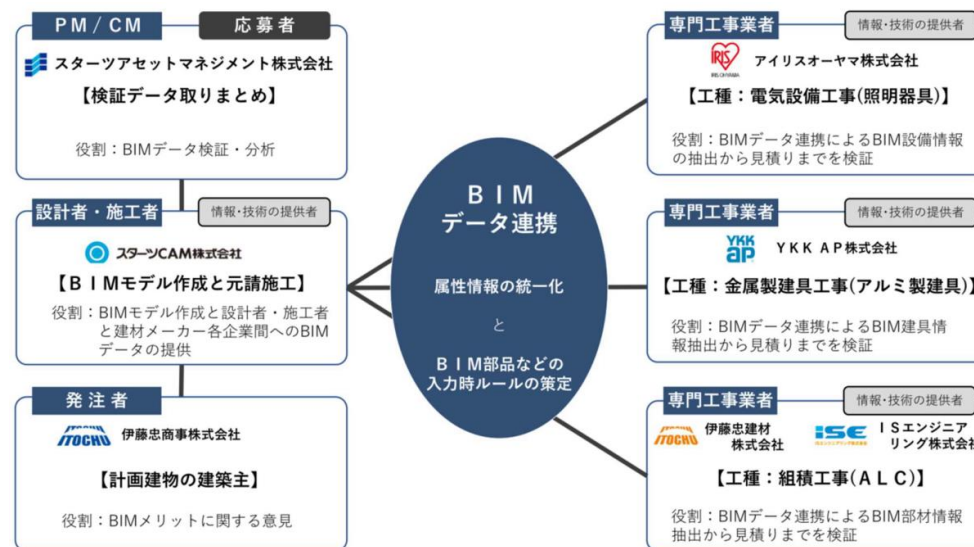
② BIM-ECコンソーシアムの歩み

- ECコンソ 2 期（2019年4月～）メーカー・専門工事業者とのBIMデータ連携を検証
- ECコンソ 3 期（2020年4月～）会員各社との実証実験の活動報告を実施

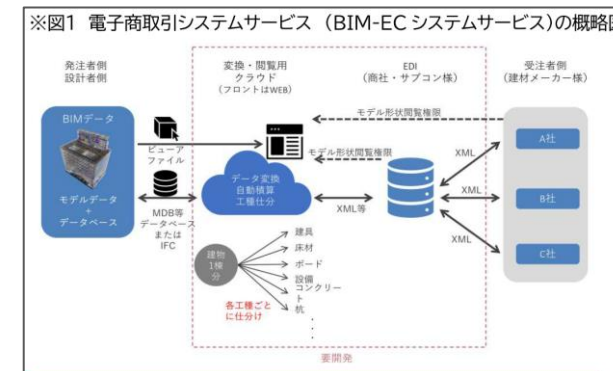


② BIM-ECコンソーシアムの歩み

- ECコンソ 4 期 (2021年4月～) R3国交省BIMモデル事業にてデータ連携の効果検証を報告

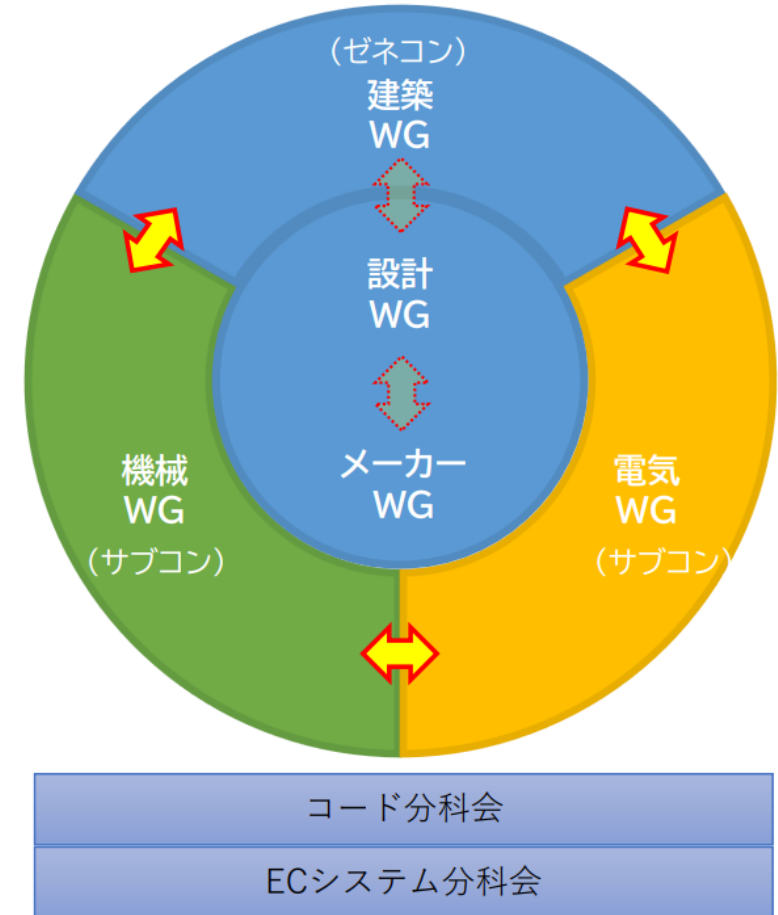


	施工中	仮想物件 A	仮想物件 B	仮想物件 C	仮想物件 D
BIM モデル 外観					
プロジェクト区分	新築	新築	新築	新築	新築
検証区分	実施済	仮想	仮想	仮想	仮想



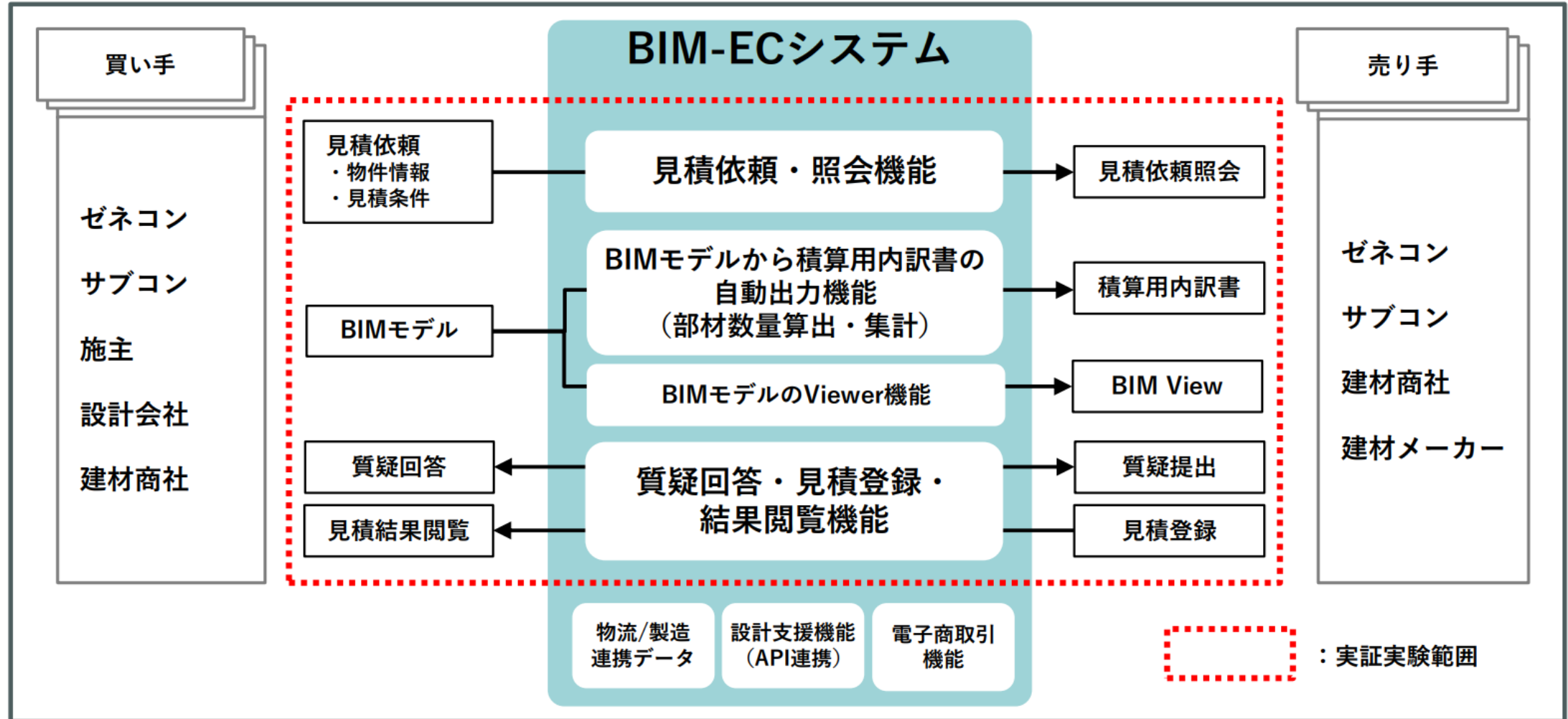
② BIM-ECコンソーシアムの歩み

- ECコンソ 5 期（2022年4月～） 会員31社へ拡大、EC勉強会を中心にコード分析とPoCに向け始動



② BIM-ECコンソーシアムの歩み

- ECコンソ 6 期（2023年4月～） 会員38社へ、PoC開始し現在検証中



BIM-ECシステム概略及び実証実験範囲

③ BIM-ECシステムの構築に向けた取組

- BIM-EC連携データ調査

EC共通内訳書にUniclassコードの割当

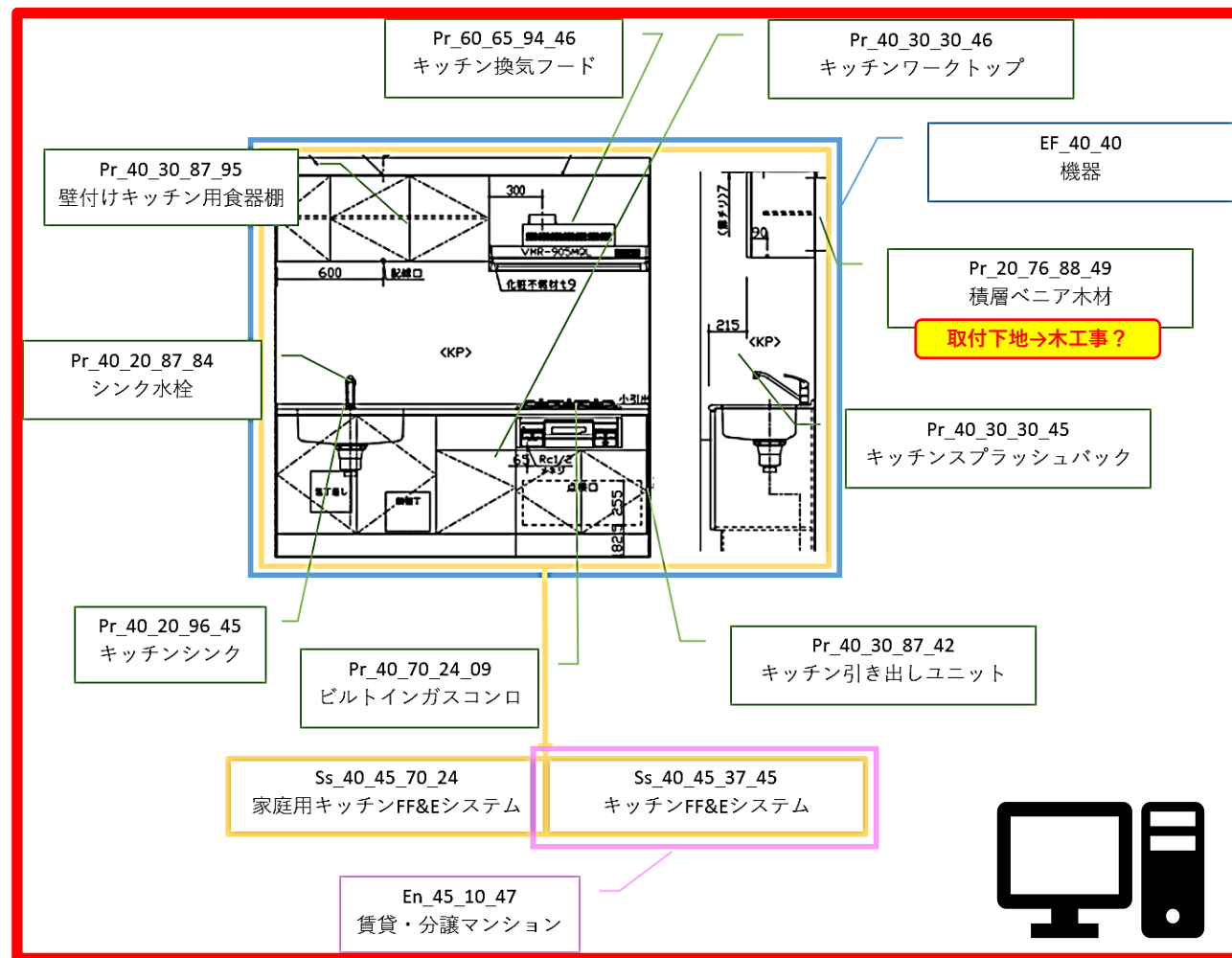
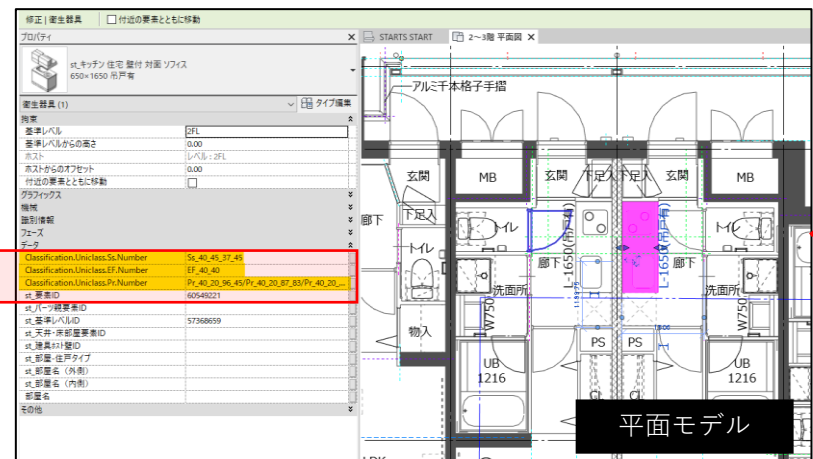
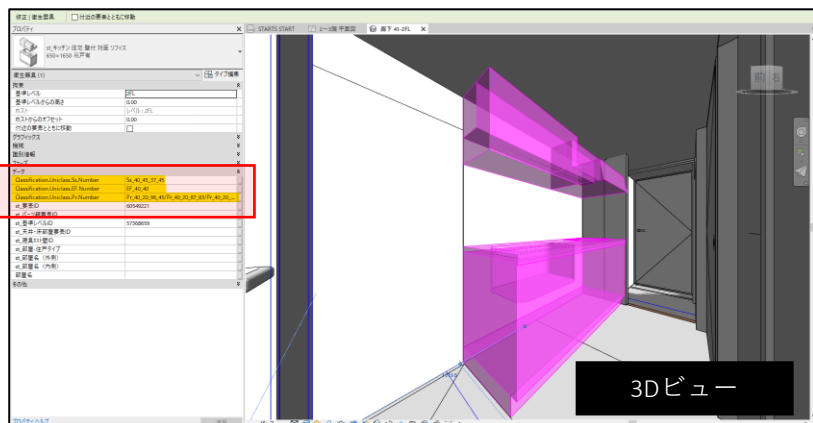
Code	Title	日本語訳	ご意見
Ac_05	Project management activities	案件管理（事業化戦略、基本構想、基本設計、実施設計、建設施工管理）	投稿する
Ac_05_00	Strategy stage activities	事業戦略策定	投稿する
Ac_05_00_10	Business case development	事業化案件（ビジネスケース）開発	投稿する
Ac_05_00_80	Strategic business case development	事業戦略の策定	投稿する

<https://www.bsij.or.jp/uniclass/>（日本建築積算協会HPより引用）

（公社）日本建築積算協会で公開されている
『uniclass(日本語版)Web検索システム』

③ BIM-ECシステムの構築に向けた取組

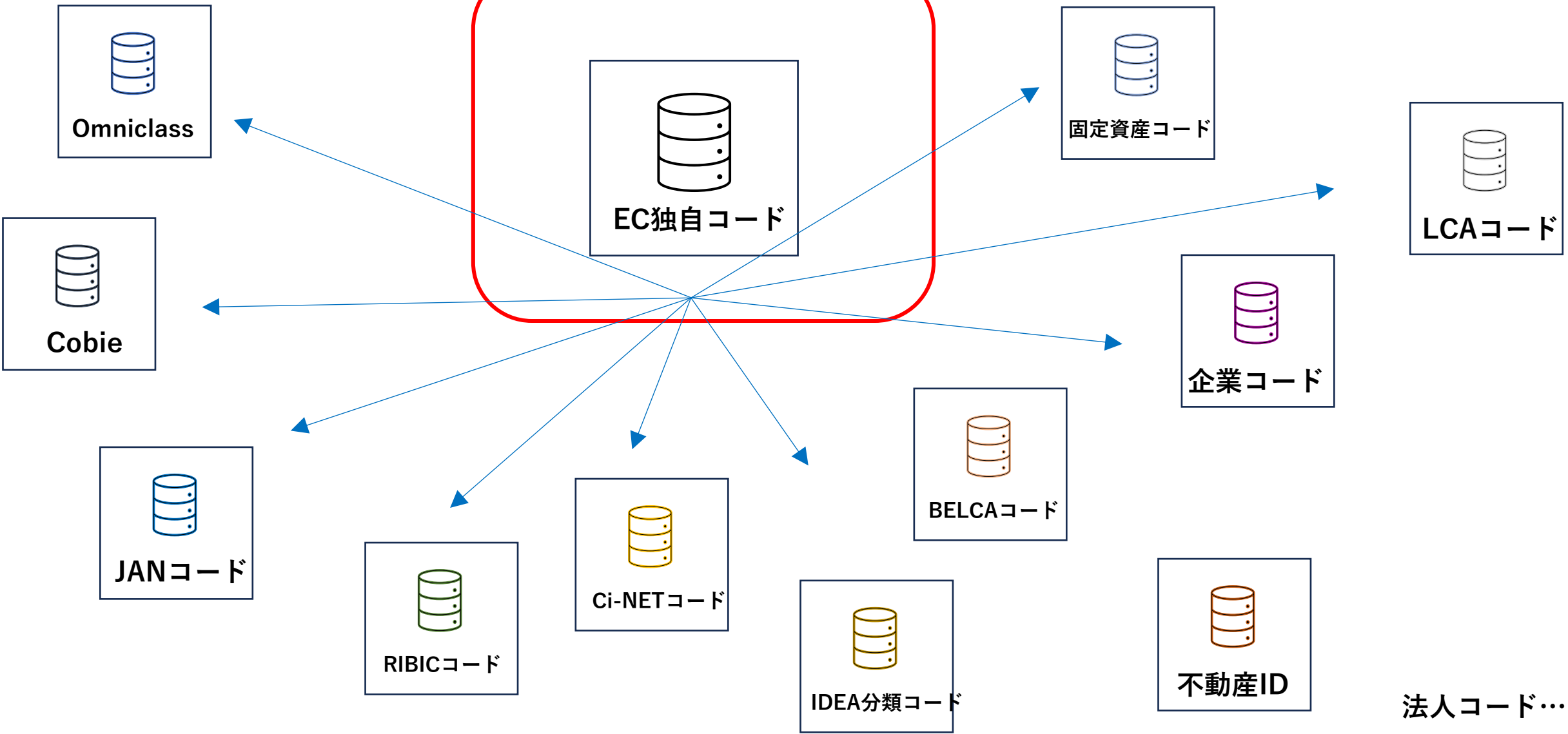
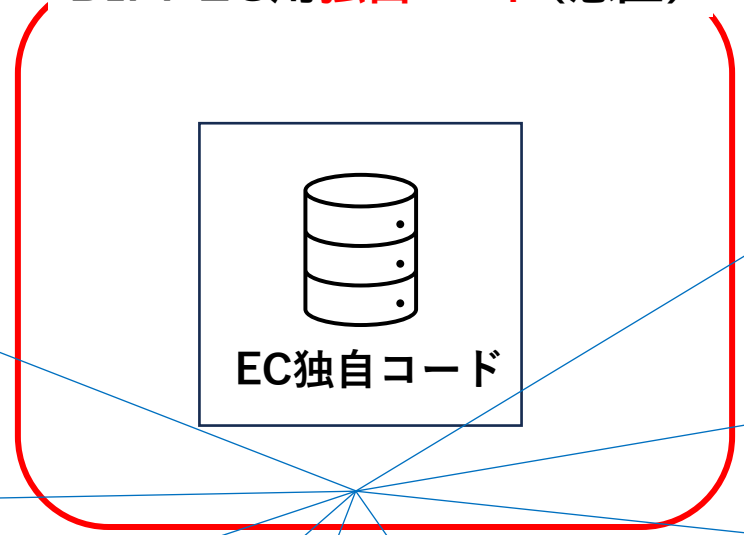
• BIMモデルとUniclassコードの確認



EC共通内訳書に該当するUniclassコードを一つ一つ整理

④ BIM-EC今後の展開

BIM-EC用**独自コード**(意匠)

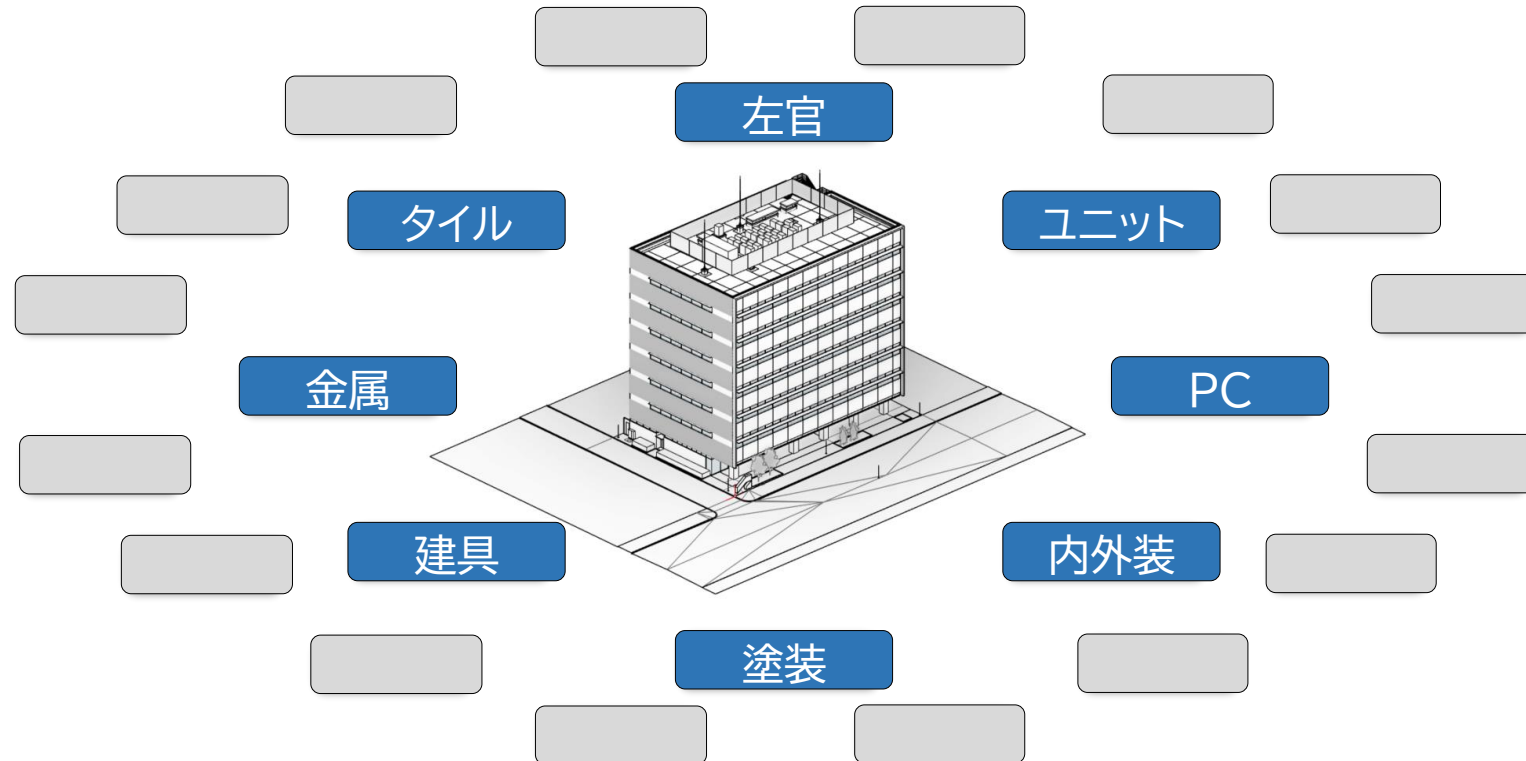


④ BIM-EC今後の展開

• ECコンソーシアムの可能性と限界

EC独自コードで、見積りで必要とする商品の特定までは可能

一方で、建設においては建物用途も多様で、同様に内訳書も多様となる。全ての工種に一つ一つ確認しながらの分類コード割当は、果てしなく継続的な支援体制や、コードを維持管理していく団体が必要。



日本の建設会社が生み出すBIMデータは、
分類体系がなければ限られた範囲内ではしか連携できない。

- 各方面への期待（民間団体・公共団体・建設系データベース所有機関など）

共通化データベース整備

→ 分類コードにリンクしデータベース化された標準工事仕様書の普及と使いやすいソフトウェア開発

統合的なコードマネジメント団体の設立

→ 新たなコードが生まれ、既存の様々なコードと連携するシステムやそれらの管理と維持

BIMリテラシーの向上への支援

→ 特に発注者や代理人がデータを永続的に使っていくための、人と資金の継続的補助